

観光とは 心理学の塊である。



観光学部 教授

宮原道子

MIYAHARA MICHIKO

略歴

京都大学大学院教育心理学専攻 卒業
京都大学大学院教育学研究科修士課程 修了 修士(教育学)
京都大学大学院教育学研究科博士課程 研究指導認定退学
京都聖母女学院短期大学生生活科学科専任講師
立命館大学、大谷大学、龍谷大学、京都産業大学、佛教大学、京都ノートルダム女子大学、京都教育大学、京都外国語大学、聖泉大学、芦屋大学で非常勤講師を務める

専門分野

教育心理学、発達心理学、観光調査入門

研究活動

- ・教職科目履修生の特徴の理解
教職科目履修生が持つ将来展望やアイデンティティ、就職に対する意識などについて調べています。
分析結果から、教職科目履修生の内面や特徴に迫りたいと考えています。
- ・観光と心理学
観光することには、心の動きが関わります。
観光しようという気持ちがあって、お金や時間といった条件が整わないと、観光は実行されません。観光中に感動するのも、観光後に思い出に浸るのも、心の動きです。
逆に、観光を提供する立場の人には、おもてなしの気持ちのような心の動きが必要です。
このような心の動きと観光について、研究していきたいと考えています。

- ・“ながら勉強”の研究
ながら勉強のしくみや、ながら勉強ができる人とできない人の違い、ながら勉強に向けた音と勉強内容の組み合わせやその逆に向かない組み合わせ、などについて、視覚と聴覚と注意と記憶を切り口として、研究しています。

担当授業

教育心理学、教育相談、発達心理学

- ・教職課程の科目
本学の教職課程履修者は、1学年あたり数名～十数名となっています。そのため、教職課程科目の授業は、どれも少人数で行っています。
一人一人の授業態度や、授業の感想や質問を書いてもらったりアクションペーパーなどから、学生それぞれの個性が浮かび上がり、興味深いです。
- ・スタジオ
宮原スタジオは、1年生から4年生まで、どの学年も所属人数は10人未満です。そのため、教職課程科目と同様に少人数教育が可能となっています。
講義形式が中心の一般的な授業とはまた違う学生の顔が見られて、面白さとやりがいを感じています。
- ・心理学関連科目
教職科目の教育心理学、教育相談に加えて、今年度から発達心理学を開講しています。
受講生はこれもまた少数ですが、心理学に興味を持っている学生を相手に、好きな心理学の話ができるのは、何事にも代えがたい喜びや楽しさがあります。